



# I 自然と人口

項目	データ	全国順位
<b>(面積)</b>		
総面積(北方地域及び竹島を含む)	3,798.13km <sup>2</sup>	39
自然公園面積	124,583ha	15
林野面積割合	32.2%	44
総面積 1 km <sup>2</sup> あたり人口密度	1,894.2人	4
総面積中の可住地面積割合	67.8%	3
<b>(気象)</b>		
年平均気温	15.3℃	27
年間降水量	1,387.5mm	35
年間快晴日数	64日	1
<b>(人口)</b>		
人口総数	7,194,556人	5
男	3,608,711人	5
女	3,585,845人	5
外国人	88,734人	5
年少人口割合(0~14歳)	13.3%	26
生産年齢人口割合(15~64歳)	66.3%	3
老年人口割合(65歳以上)	20.4%	43
75歳以上人口割合	8.2%	47
<b>(年齢)</b>		
平均年齢	43.6歳	43
平均寿命(男)	79.62年	23
平均寿命(女)	85.88年	42
<b>(人口変動)</b>		
昼間人口	6,373,489人	5
昼夜間人口比率	88.6	47
他都道府県からの転入者数	157,553人	3
他都道府県への転出者数	142,644人	4
出生数	55,765人	5
合計特殊出生率	1.31	40
死亡数(総数)	61,269人	5
<b>(世帯)</b>		
一般世帯数	2,837,542世帯	5
核家族世帯割合(一般世帯)	62.2%	2
高齢単身世帯割合(一般世帯)	7.2%	43
婚姻率(人口千対)	4.9	14
離婚率(人口千対)	1.75	16
平均初婚年齢(夫)	31.4歳	3
平均初婚年齢(妻)	29.5歳	4

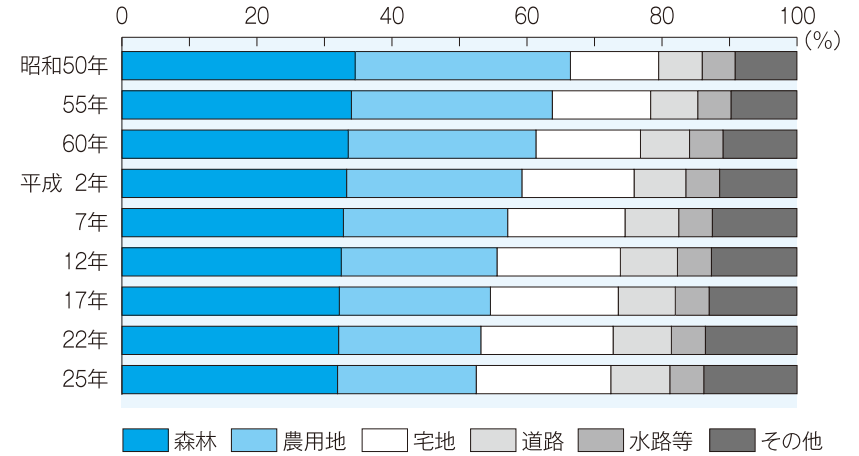
# 1 面積

単 位	* 1 総面積 (北方地域及び竹島を含む)		* 2 総面積1kmあたり 人口密度		* 3 総面積中の 人口集中地区面積割合		* 4 総面積中の 可住地面積割合	
	km <sup>2</sup>	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	377 950.10		343.4		3.37		32.8	
北海道	83 456.87	1	70.2	47	0.96	43	28.3	30
青森県	9 644.54	8	142.4	41	1.66	34	33.5	22
岩手県	15 278.89	2	87.1	46	0.55	47	24.2	40
宮城県	7 285.76	16	322.3	19	3.33	17	43.2	14
秋田県	11 636.25	6	93.3	45	0.75	45	27.4	33
山形県	9 323.46	9	125.4	42	1.23	42	30.6	28
福島県	13 782.76	3	147.2	39	1.33	39	30.7	27
茨城県	6 095.72	24	487.2	12	3.97	13	65.3	4
栃木県	6 408.28	20	313.3	22	2.95	20	46.5	12
群馬県	6 362.33	21	315.6	21	3.15	19	36.2	17
埼玉県	3 798.13	39	1 894.2	4	18.09	4	67.8	3
千葉県	5 156.70	28	1 205.5	6	12.29	6	68.5	2
東京都	2 187.50	45	6 015.7	1	49.12	1	63.6	5
神奈川県	2 415.86	43	3 745.4	3	39.29	3	60.7	6
新潟県	12 583.81	5	188.7	34	1.85	31	35.8	18
富山県	4 247.61	33	257.4	25	2.47	26	43.6	13
石川県	4 185.66	35	279.5	23	2.55	25	33.2	23
福井県	4 189.83	34	192.4	32	1.87	30	25.6	36
山梨県	4 465.37	32	193.3	31	1.35	38	21.3	44
長野県	13 562.23	4	158.7	38	1.30	40	24.4	39
岐阜県	10 621.17	7	195.9	30	1.68	33	20.7	45
静岡県	7 780.42	13	483.9	13	5.47	11	35.4	20
愛知県	5 165.04	27	1 434.8	5	17.84	5	57.6	7
三重県	5 777.27	25	321.0	20	3.22	18	35.4	20
滋賀県	4 017.36	38	351.2	15	2.68	24	32.3	25
京都府	4 613.21	31	571.4	10	5.71	10	25.5	37
大阪府	1 898.47	46	4 669.7	2	47.76	2	69.4	1
兵庫県	8 396.13	12	665.6	8	6.88	8	33.1	24
奈良県	3 691.09	40	379.5	14	3.88	14	23.1	43
和歌山県	4 726.29	30	212.0	29	1.93	29	23.2	42
鳥取県	3 507.28	41	167.8	37	1.38	37	26.0	35
島根県	6 707.95	19	107.0	44	0.64	46	19.2	46
岡山県	7 113.21	17	273.5	24	2.85	22	31.3	26
広島県	8 479.58	11	337.4	18	3.59	15	27.0	34
山口県	6 113.95	23	237.4	28	3.45	16	28.1	31
徳島県	4 146.67	36	189.4	33	1.28	41	24.7	38
香川県	1 876.53	47	530.7	11	4.16	12	53.4	10
愛媛県	5 678.18	26	252.1	26	2.71	23	29.4	29
高知県	7 105.16	18	107.6	43	0.78	44	16.3	47
福岡県	4 977.24	29	1 019.0	7	11.38	7	55.7	8
佐賀県	2 439.65	42	348.3	16	2.22	27	54.6	9
長崎県	4 105.33	37	347.5	17	2.93	21	39.8	15
熊本県	7 404.73	15	245.4	27	2.10	28	36.9	16
大分県	6 339.71	22	188.7	34	1.81	32	27.5	32
宮崎県	7 735.99	14	146.7	40	1.47	35	23.9	41
鹿児島県	9 188.78	10	185.7	36	1.38	36	35.6	19
沖縄県	2 276.15	44	611.9	9	5.75	9	51.3	11

資料出所  
\* 1～3 「国勢調査」総務省統計局HP  
\* 4 「社会生活統計指標」総務省統計局

調査時点又は期間  
平成22年10月1日  
平成25年10月1日  
調査周期  
5年  
毎年

# 利用形態別土地面積構成比



資料：「埼玉の土地」県土地水政策課

## 総面積は国土の約1%で全国第39位、人口密度は全国第4位

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の本県の総面積は3,798.13km<sup>2</sup>(東西約103km、南北約52km)で国土の約1%に当たり、47都道府県中39番目の広さです。

総面積1km<sup>2</sup>当たりの人口密度は1,894.2人で、前回調査(平成17年)と同じ全国第4位でした。

また、県内の全ての市と10の町に設定されている人口集中地区が総面積に占める割合は18.09%で、全国第4位でした。

「社会生活統計指標」によると、平成25年10月1日現在の可住地面積割合は、全国平均(32.8%)の約2倍の67.8%で、全国第3位でした。

人口集中地区面積割合  $\text{人口集中地区面積} \div \text{総面積} \times 100$

可住地面積割合  $\text{可住地面積} \div \text{北方地域及び竹島を除いた総面積} \times 100$

## ～人口集中地区、可住地面積とは～

### ・人口集中地区

「人口集中地区」は、国勢調査基本単位区または調査区を基礎単位として、  
①人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村域内で互いに隣接し、

②国勢調査時に、隣接地域の人口が5,000人以上を有する当該地域、としています。

昭和35年国勢調査以来、各回の調査ごとに設定され、地方交付税算定基準の1つとして利用されているほか、都市計画、地域開発計画、市街地再開発計画、産業立地計画、交通計画、環境衛生対策、防犯・防災対策、その他各種行政施策、学術研究及び民間市場調査などに広く利用されています。

### ・可住地面積

「可住地面積」は、総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出した面積です。



おしえてコバタン

## 2 自然・地形

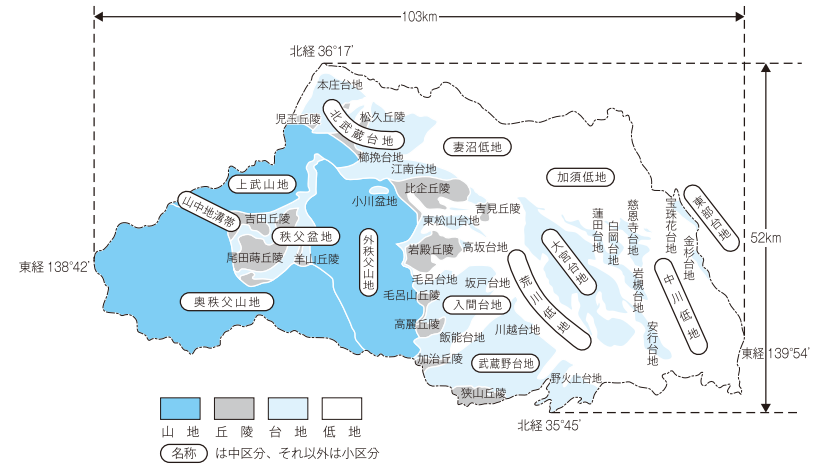
単 位	* 1 自然公園面積		* 2 自然公園面積割合		* 3 林野面積割合		* 4 河川延長・一級河川 (指定区間外含む)	
	ha	順位	%	順位	%	順位	km	順位
全 国	5 434 334		14.38		66.6		88 068.0	
北海道	867 540	1	10.39	37	70.8	18	10 176.5	1
青森県	114 587	18	11.88	29	65.1	25	1 083.2	34
岩手県	72 102	29	4.72	46	75.8	8	2 142.2	14
宮城県	171 199	8	23.50	9	56.6	33	2 111.8	15
秋田県	123 777	16	10.64	35	71.9	16	2 733.6	8
山形県	155 810	10	16.71	21	69.4	20	2 931.1	6
福島県	179 096	6	12.99	26	68.4	22	3 438.6	4
茨城県	90 896	20	14.91	22	31.0	46	1 892.9	20
栃木県	133 443	13	20.82	13	53.3	35	2 732.2	9
群馬県	88 864	23	13.97	25	63.8	29	2 904.5	7
埼玉県	124 583	15	32.80	4	32.2	44	1 645.0	25
千葉県	28 537	43	5.53	45	31.2	45	512.6	41
東京都	79 889	27	36.50	2	36.4	43	734.6	38
神奈川県	55 138	32	22.82	10	39.0	42	332.9	42
新潟県	316 891	2	25.18	8	64.2	28	3 602.9	3
富山県	125 554	14	29.56	5	56.4	34	1 171.2	32
石川県	52 564	33	12.56	27	66.7	24	316.9	43
福井県	61 910	31	14.78	23	74.1	12	1 099.3	33
山梨県	121 153	17	27.13	7	78.2	4	2 055.6	17
長野県	278 548	3	20.54	14	75.4	9	5 070.4	2
岐阜県	195 093	5	18.37	16	79.3	2	3 262.2	5
静岡県	84 044	25	10.80	33	63.7	30	1 627.0	27
愛知県	88 881	22	17.21	19	42.4	41	1 392.8	30
三重県	201 896	4	34.95	3	64.6	26	1 751.7	22
滋賀県	149 957	12	37.33	1	50.9	36	2 315.7	12
京都府	25 738	45	5.58	44	74.2	11	1 627.7	26
大阪府	20 039	47	10.54	36	30.6	47	668.9	39
兵庫県	166 015	9	19.77	15	66.9	23	1 772.1	21
奈良県	63 328	30	17.16	20	76.9	5	1 674.9	24
和歌山県	50 310	34	10.64	34	76.8	6	602.0	40
鳥取県	49 061	35	13.99	24	73.5	13	1 034.2	36
島根県	40 496	40	6.04	43	78.4	3	2 288.4	13
岡山県	80 664	26	11.34	30	68.7	21	2 543.3	10
広島県	37 853	42	4.46	47	73.0	14	2 418.7	11
山口県	42 667	38	6.98	41	71.9	16	215.7	44
徳島県	38 706	41	9.33	39	75.3	10	1 518.5	28
香川県	20 534	46	10.94	32	46.6	38	87.2	46
愛媛県	41 121	39	7.24	40	70.6	19	1 944.3	18
高知県	47 504	37	6.69	42	83.7	1	1 927.6	19
福岡県	88 101	24	17.69	18	44.3	40	1 300.2	31
佐賀県	26 884	44	11.02	31	45.4	39	1 075.1	35
長崎県	74 091	28	18.05	17	60.2	32	136.3	45
熊本県	155 636	11	21.02	11	63.1	31	1 734.5	23
大分県	174 849	7	27.58	6	72.5	15	2 074.5	16
宮崎県	91 919	19	11.88	28	76.2	7	1 508.5	29
鹿児島県	89 129	21	9.70	38	64.3	27	878.1	37
沖縄県	47 737	36	20.97	12	48.7	37	-	47

資料出所  
 \* 1.2 「環境統計集」環境省HP  
 \* 3 「農林業センサス」農林水産省HP  
 \* 4 「一級河川の河川延長等調」国土交通省HP

調査時点又は期間  
 平成27年3月31日  
 平成22年2月1日  
 平成26年4月30日

調査周期  
 毎年  
 5年  
 毎年

## 埼玉県の地形



資料：埼玉県の地形区分と名称図(1975村本達郎氏による)

### 県土の約3分の1が自然公園

本県は関東地方の中央部から西部に位置する内陸県で、東は茨城、千葉、西は長野、山梨、南は東京、北は群馬、栃木の1都6県に接しています。

地形は、県の最高峰・三宝山(2,483m)をはじめとする2,000m級の山々が西部に連なり、東部に移るにつれて丘陵、台地、低地と次第に低くなっています。

「環境統計集」によると、平成27年3月31日現在、自然公園は国立1か所、県立10か所の計11か所が指定されており、その総面積(124,583ha)の割合は県土の32.80%を占め、全国第4位でした。

「農林業センサス」によると、林野面積は122,401haで、面積割合は32.2%でした。

### 県内の一級河川延長は1,645km

国土交通省によると、県内の一級河川延長は1,645kmで、全国第25位でした。県内の一級河川はすべて利根川・荒川水系に含まれています。

※表\*1の自然公園面積は、国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園の合計面積で再測定面積のため、都道府県別値の計は全国値と一致しません。

### ～「川の国応援団」、県内各地で活動中～

本県は、県土面積に占める河川の割合が3.9%で日本一です。さらに、鴻巣市と吉見町の境を流れる荒川の川幅は2,537mあり、こちらも日本一です。

この貴重な財産を豊かな水辺として次代に引き継ぐため、県内各地に川の再生活動を行う団体が増えてきました。NPO、事業者、学校などの様々な団体が登録する「川の国応援団」もその一つで、平成28年1月現在で597団体が登録しています。

県では、こうした活動が活発に行われるよう、「川の国応援団」の登録団体に対し、活動資材の提供や貸出し、情報共有や情報発信など様々な支援を行っています。



おしえてコバタン

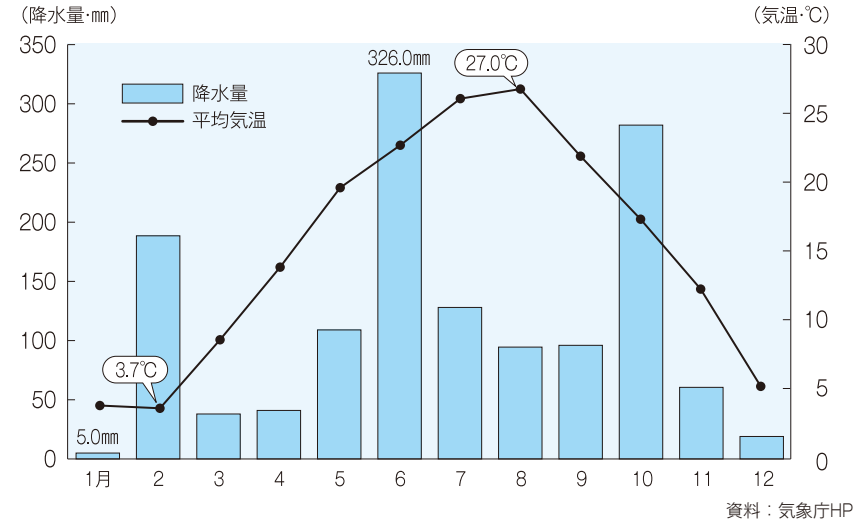
### 3 気象

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	年平均気温		年間降水量		年間日照時間		年間快晴日数 (日平均雲量<1.5)	
	℃	順位	mm	順位	時間	順位	日	順位
全 国	...	...	...	...	...	...	...	...
北海道	9.3	47	1 203.5	44	1 912.7	25	26	21
青森県	10.7	45	1 483.5	28	1 735.0	44	18	34
岩手県	10.6	46	1 280.0	40	1 852.3	33	17	37
宮城県	12.8	41	1 416.5	32	2 093.4	18	22	26
秋田県	12.0	42	1 737.5	20	1 647.3	47	16	39
山形県	11.8	44	1 336.5	38	1 736.9	43	15	43
福島県	13.3	40	1 365.5	37	1 889.2	27	19	31
茨城県	14.2	37	1 471.0	29	2 249.6	6	46	5
栃木県	14.2	37	1 763.5	18	2 180.3	10	50	3
群馬県	14.9	28	1 395.5	34	2 344.1	2	40	8
埼玉県	15.3	27	1 387.5	35	2 366.3	1	64	1
千葉県	15.9	26	1 738.5	19	2 263.6	4	38	11
東京都	16.6	12	1 808.0	16	2 104.0	14	46	5
神奈川県	16.2	19	1 860.0	14	2 220.7	7	37	12
新潟県	13.7	39	1 984.0	12	1 764.2	40	16	39
富山県	14.3	36	2 535.0	6	1 768.5	39	17	37
石川県	14.8	33	2 634.5	4	1 860.6	30	18	34
福井県	14.6	35	2 463.5	8	1 787.7	37	22	26
山梨県	14.7	34	1 190.0	45	2 335.2	3	36	14
長野県	11.9	43	902.0	47	2 028.1	20	21	29
岐阜県	16.1	21	1 719.0	21	2 208.7	9	37	12
静岡県	16.6	12	2 374.0	9	2 214.8	8	51	2
愛知県	16.1	21	1 505.5	27	2 255.3	5	40	8
三重県	16.1	21	1 589.0	25	2 142.0	13	35	15
滋賀県	14.9	28	1 449.5	30	1 970.6	24	23	25
京都府	16.1	21	1 377.0	36	1 824.6	35	15	43
大阪府	16.7	8	1 278.5	41	2 161.3	11	18	34
兵庫県	16.7	8	1 222.0	43	2 096.0	16	15	43
奈良県	14.9	28	1 320.5	39	1 854.0	32	19	31
和歌山県	16.7	8	1 409.5	33	2 145.2	12	20	30
鳥取県	14.9	28	1 890.0	13	1 706.7	46	14	46
島根県	14.9	28	1 818.5	15	1 721.0	45	19	31
岡山県	16.1	21	1 142.5	46	1 972.5	23	39	10
広島県	16.2	19	1 573.0	26	1 979.7	21	30	18
山口県	16.6	12	1 678.0	23	1 775.9	38	33	16
徳島県	16.4	15	2 534.0	7	2 098.0	15	16	39
香川県	16.4	15	1 228.5	42	1 975.9	22	16	39
愛媛県	16.4	15	1 417.5	31	1 901.2	26	22	26
高知県	17.0	5	3 658.5	1	2 095.0	17	33	16
福岡県	17.1	4	1 765.5	17	1 809.8	36	30	18
佐賀県	16.7	8	2 252.5	10	1 859.7	31	42	7
長崎県	17.0	5	2 133.5	11	1 761.0	41	26	21
熊本県	16.8	7	1 694.0	22	1 883.7	28	26	21
大分県	16.3	18	1 613.0	24	1 840.7	34	24	24
宮崎県	17.4	3	2 731.5	3	2 072.0	19	47	4
鹿児島県	18.5	2	2 834.0	2	1 872.3	29	30	18
沖縄県	23.1	1	2 584.5	5	1 760.2	42	7	47

資料出所  
\*1~4 気象庁HP

調査時点又は期間  
平成26年  
調査周期  
毎年

### 月別降水量・平均気温 (平成26年・熊谷)



#### 夏は高温多湿、冬は低温乾燥

本県の気候は、冬は北西の季節風が強く晴天の日が多くて乾燥し、夏は日中かなりの高温になり雷の発生が多く、降ひょうも多いのが特徴です。地域別に気温の特徴をみると、北部は、県内でも夏の気温が高い地域となっており、平成19年8月16日に熊谷と多治見(岐阜県)で、それまでの国内最高気温40.9℃を観測しました。(平成25年8月12日に高知県の江川崎で41.0℃を観測、国内最高気温が更新されました。)一方、秩父地方の盆地は、冬期に夜間の冷え込みが強く、昭和29年1月27日に-15.8℃の最低気温を観測しました。

#### 年間日照時間、年間快晴日数ともに全国第1位

気象庁によると、平成26年の熊谷の年平均気温は、平年値より0.3℃高い15.3℃、最高気温は8月5日の38.8℃、最低気温は2月5日の-4.7℃でした。また、年間降水量は平年値より101.2mm多い1,387.5mmで、日最大降水量は6月6日の111.5mmでした。年間日照時間は平年値より324.2時間多い2,366.3時間となり、年間快晴日数は前年より6日少ない64日で、ともに全国第1位でした。

※表\*1~4の各都道府県値は、原則、都道府県庁所在市の観測地点によりますが、埼玉県は熊谷、千葉県は銚子、滋賀県は彦根、山口県は下関の値としました。

#### ◆冬日、夏日などの日数(平成26年・熊谷)◆

	説 明	日数
冬 日	日最低気温が0度未満の日	62
真冬日	日最高気温が0度未満の日	-
夏 日	日最高気温が25度以上の日	132
真夏日	日最高気温が30度以上の日	60
猛暑日	日最高気温が35度以上の日	19

資料：気象庁HP

# 4 自然災害

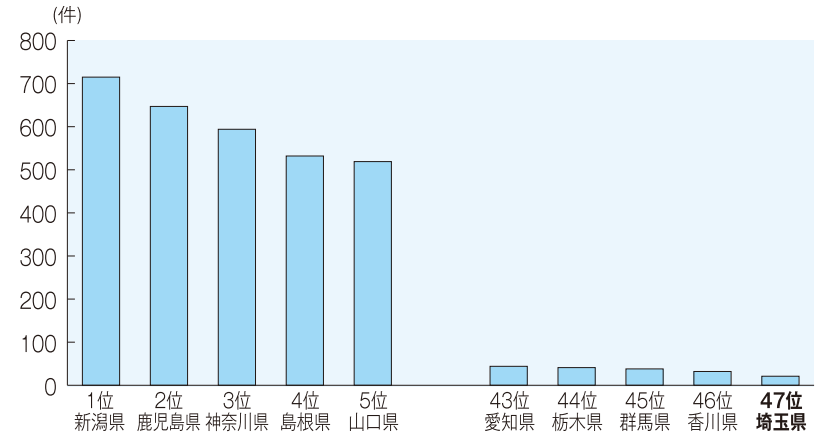
単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	自然災害による被害総額		河川被害発生箇所数		土砂災害発生件数		震度1以上地震観測回数	
	百万円	順位	箇所	順位	件	順位	回	順位
全 国	392 312		5 543		1 184		2 052	
北海道	14 103	10	133	13	56	8	167	8
青森県	5 476	23	95	15	1	36	147	10
岩手県	3 061	30	7	39	2	32	341	3
宮城県	4 424	25	30	28	3	29	300	4
秋田県	3 649	27	50	24	1	36	66	19
山形県	11 866	14	159	10	27	11	58	21
福島県	3 590	28	55	20	10	24	348	2
茨城県	3 054	31	-	44	1	36	359	1
栃木県	20 122	6	11	36	3	29	191	7
群馬県	24 350	4	-	44	2	32	107	13
埼玉県	10 375	15	-	44	1	36	116	11
千葉県	5 555	20	22	29	24	13	196	6
東京都	470	45	1	43	1	36	152	9
神奈川県	5 514	21	13	33	95	3	73	17
新潟県	6 665	19	53	22	23	15	68	18
富山県	1 084	41	14	32	30	10	12	44
石川県	1 539	37	54	21	19	19	21	36
福井県	1 777	36	18	30	2	32	36	27
山梨県	26 059	3	13	33	1	36	51	23
長野県	28 334	2	16	31	45	9	239	5
岐阜県	18 413	8	268	8	20	17	102	14
静岡県	13 829	12	487	4	73	6	83	15
愛知県	329	46	3	42	1	36	29	33
三重県	10 347	16	359	6	8	26	19	39
滋賀県	1 431	38	-	44	-	47	32	28
京都府	14 115	9	539	2	14	21	32	28
大阪府	11	47	4	41	6	27	21	36
兵庫県	19 005	7	522	3	88	5	31	30
奈良県	2 666	32	35	27	1	36	20	38
和歌山県	12 001	13	288	7	27	11	65	20
鳥取県	831	42	9	38	1	36	12	44
島根県	1 214	40	38	26	9	25	24	35
岡山県	672	43	7	39	2	32	16	42
広島県	20 325	5	400	5	182	1	28	34
山口県	2 468	33	99	14	91	4	19	39
徳島県	9 368	17	148	11	18	20	31	30
香川県	1 396	39	61	18	3	29	15	43
愛媛県	5 172	24	73	16	21	16	39	26
高知県	39 097	1	886	1	122	2	30	32
福岡県	1 938	35	46	25	1	36	19	39
佐賀県	474	44	12	35	1	36	7	47
長崎県	3 521	29	58	19	14	21	11	46
熊本県	2 327	34	140	12	6	27	54	22
大分県	4 038	26	53	22	24	13	41	25
宮崎県	5 510	22	184	9	20	17	43	24
鹿児島県	13 884	11	69	17	70	7	116	11
沖縄県	6 837	18	11	36	14	21	74	16

資料出所  
 \* 1,2 「消防白書」消防庁HP  
 \* 3 「近年の都道府県別土砂災害発生状況」国土交通省HP  
 \* 4 「地震・火山月報（防災編）」気象庁HP

調査時点又は期間  
 平成26年  
 平成26年  
 平成26年

調査周期  
 毎年  
 毎年  
 毎年

# 土砂災害発生件数（平成19年～26年の累計）



資料：「近年の都道府県別土砂災害発生状況」国土交通省HP

## 4年連続、河川被害発生箇所がゼロ

「消防白書」によると、平成26年の自然災害による被害総額は、2月に発生した大雪の影響等により前年より98億9,421万円多い103億7,592万円で、全国第15位でした。

また、4年連続で河川被害発生箇所がありませんでした。

「近年の都道府県別土砂災害発生状況」によると、平成26年に発生した土砂災害は1件でした。なお、平成19年～26年の土砂災害発生件数（累計）は21件で、全国最少となっています。

## 県内で震度1以上の地震観測回数は3年前の5分の1以下

「地震・火山月報（防災編）」によると、平成26年に国内で被害を伴った地震は7回で、死者・行方不明者を伴った地震はありませんでした。

また、本県の観測点で観測した震度1以上の地震は116回で、最大の震度は震度5弱（9月16日）でした。

気象庁によると、平成26年の台風の発生数は23個（年平均値は25.6個）でした。そのうち、日本に上陸した台風は4個（年平均値は2.7個）でした。また、「平成26年8月豪雨」では、2つの台風や前線等の影響で広い範囲で大雨に見舞われ、広島県広島市では、集中豪雨による大規模な土砂災害が発生しました。

※表\*3及び文中の土砂災害の数値は、土石流、地すべり並びにがけ崩れの件数の合計です。

## ～「平成27年9月関東・東北豪雨」が発生～

平成27年9月6日から9月11日にかけて、台風18号の北上と本州付近に停滞していた前線の影響で、南から湿った空気が流れ込み、埼玉県では南部や北部を中心に雷を伴った大雨となりました。人的被害をはじめ床上、床下浸水及び道路冠水などの浸水害、土砂災害などが発生し、鉄道や道路などの交通機関にも大きな影響がありました。この豪雨は、「平成27年9月関東・東北豪雨」と命名されました。

### ・主な被害状況

- 人的被害 負傷：3名（落雷による負傷、富士見市） 耕地冠水 約4,000ha（県南東部）
- 建物被害 床上浸水：557棟（さいたま市他） 農業・林業被害 多数
- 床下浸水：2,188棟（さいたま市他）
- 住宅破損：1棟（坂戸市）
- 鉄道冠水 1か所（東武鉄道）
- 土砂崩れ 3か所（飯能市、小鹿野町）

資料：熊谷地方気象台HP



おしえてコバトン

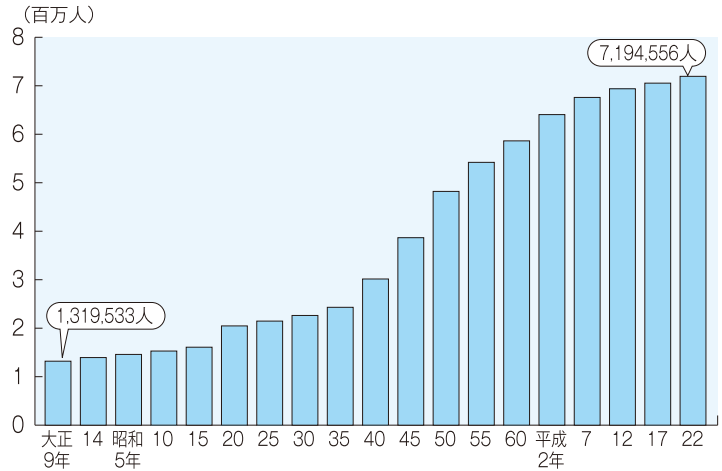
# 5 総人口

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	人口総数	順位	男	順位	女	順位	外国人	順位
人	人	人	人	人	人	人	人	人
全 国	128 057 352		62 327 737		65 729 615		1 648 037	
北海道	5 506 419	8	2 603 345	8	2 903 074	8	18 280	20
青森県	1 373 339	31	646 141	31	727 198	29	3 688	43
岩手県	1 330 147	32	634 971	32	695 176	32	5 184	38
宮城県	2 348 165	15	1 139 566	15	1 208 599	15	12 367	22
秋田県	1 085 997	38	509 926	38	576 071	37	3 356	46
山形県	1 168 924	35	560 643	35	608 281	34	6 158	36
福島県	2 029 064	18	984 682	20	1 044 382	18	9 347	28
茨城県	2 969 770	11	1 479 779	11	1 489 991	11	40 477	10
栃木県	2 007 683	20	996 855	18	1 010 828	21	26 429	17
群馬県	2 008 068	19	988 019	19	1 020 049	19	35 458	13
埼玉県	7 194 556	5	3 608 711	5	3 585 845	5	88 734	5
千葉県	6 216 289	6	3 098 139	6	3 118 150	6	78 927	7
東京都	13 159 388	1	6 512 110	1	6 647 278	1	318 829	1
神奈川県	9 048 331	2	4 544 545	2	4 503 786	3	125 686	4
新潟県	2 374 450	14	1 148 236	14	1 226 214	14	11 914	24
富山県	1 093 247	37	526 605	37	566 642	38	11 002	25
石川県	1 169 788	34	564 972	33	604 816	35	9 768	27
福井県	806 314	43	389 712	43	416 602	43	10 562	26
山梨県	863 075	41	422 526	41	440 549	42	12 484	21
長野県	2 152 449	16	1 046 178	16	1 106 271	16	29 841	16
岐阜県	2 080 773	17	1 006 247	17	1 074 526	17	36 879	12
静岡県	3 765 007	10	1 853 952	10	1 911 055	10	61 610	8
愛知県	7 410 719	4	3 704 220	4	3 706 499	4	160 228	3
三重県	1 854 724	22	903 398	22	951 326	23	32 825	14
滋賀県	1 410 777	28	696 769	25	714 008	30	21 537	18
京都府	2 636 092	13	1 265 387	13	1 370 705	13	41 855	9
大阪府	8 865 245	3	4 285 566	3	4 579 679	2	164 704	2
兵庫県	5 588 133	7	2 673 328	7	2 914 805	7	79 040	6
奈良県	1 400 728	29	663 321	30	737 407	28	9 255	29
和歌山県	1 002 198	39	471 397	40	530 801	39	4 837	39
鳥取県	588 667	47	280 701	47	307 966	47	3 596	44
島根県	717 397	46	342 991	46	374 406	46	4 779	40
岡山県	1 945 276	21	933 168	21	1 012 108	20	18 476	19
広島県	2 860 750	12	1 380 671	12	1 480 079	12	31 882	15
山口県	1 451 338	25	684 176	26	767 162	25	12 292	23
徳島県	785 491	44	372 710	44	412 781	44	4 076	41
香川県	995 842	40	479 951	39	515 891	40	6 858	34
愛媛県	1 431 493	26	673 326	28	758 167	27	7 828	31
高知県	764 456	45	359 134	45	405 322	45	3 172	47
福岡県	5 071 968	9	2 393 965	9	2 678 003	9	40 317	11
佐賀県	849 788	42	400 136	42	449 652	41	3 594	45
長崎県	1 426 779	27	665 899	29	760 880	26	6 498	35
熊本県	1 817 426	23	853 514	23	963 912	22	7 624	30
大分県	1 196 529	33	564 890	34	631 639	33	8 841	30
宮崎県	1 135 233	36	533 035	36	602 198	36	3 802	42
鹿児島県	1 706 242	24	796 896	24	909 346	24	5 490	37
沖縄県	1 392 818	30	683 328	27	709 490	31	7 651	32

資料出所 \*1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期  
平成22年10月1日 5年

# 人口の推移 (各年10月1日現在)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。  
資料:「国勢調査」総務省統計局

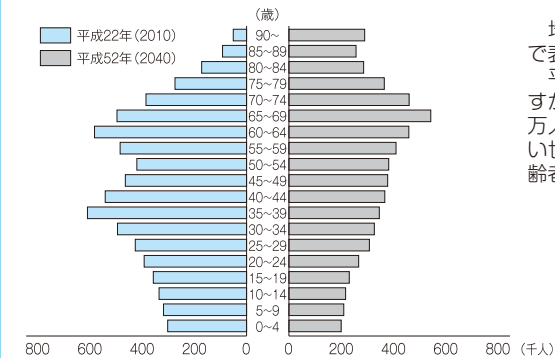
## 人口増加率は2.0%

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の人口は、前回調査(平成17年)より140,313人増加し、7,194,556人(男性3,608,711人、女性3,585,845人)で全国第5位でした。本県の人口は、大正9年の第1回調査から増加が続いており、増加率は過去最低だった前回調査を上回る2.0%でした。女性100人に対する男性の数を表す人口性比を都道府県別にみると、神奈川県が100.9、次いで本県が100.64と2県で男性人口が女性人口を上回っています。

## 県内在住外国人の割合が上昇

県内に在住する外国人は88,734人で、前回調査に比べて8,699人(10.9%)増加しました。この結果、本県の総人口に占める外国人の割合は、前回調査より0.1ポイント上昇して1.23%でした。

## ~どうなる？埼玉県の将来推計人口~



埼玉県の将来推計人口をグラフで表しました。  
平成22年の総人口は719万人ですが、30年後の平成52年には630万人に減少しています。また、若い世代の人口が減少する一方、高齢者の人口が増加しています。

資料:「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」国立社会保障・人口問題研究所HP



おしえてコタン

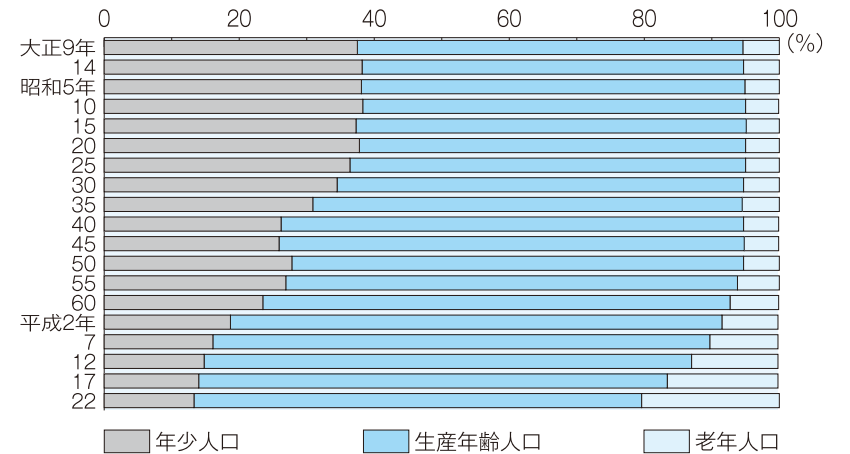
# 6 人口(年齢3区分別)

単 位	* 1 年少人口割合 (0~14歳)		* 2 生産年齢人口割合 (15~64歳)		* 3 老年人口割合 (65歳以上)		* 4 75歳以上 人口割合	
	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
全 国	13.2		63.8		23.0		11.1	
北海道	12.0	45	63.3	14	24.7	24	12.2	26
青森県	12.6	42	61.7	24	25.8	18	13.1	23
岩手県	12.7	40	60.1	39	27.2	7	14.5	9
宮城県	13.2	28	64.4	7	22.3	38	11.4	33
秋田県	11.4	46	59.0	46	29.6	1	16.1	2
山形県	12.8	38	59.6	43	27.6	5	15.4	4
福島県	13.7	15	61.3	25	25.0	23	13.5	19
茨城県	13.5	22	64.0	12	22.5	36	10.7	39
栃木県	13.6	21	64.4	8	22.0	40	10.8	37
群馬県	13.8	9	62.7	17	23.6	33	11.7	31
埼玉県	13.3	26	66.3	3	20.4	43	8.2	47
千葉県	13.0	32	65.4	4	21.5	41	9.0	43
東京都	11.4	47	68.2	1	20.4	44	9.4	42
神奈川県	13.2	30	66.6	2	20.2	46	8.8	45
新潟県	12.8	39	61.0	27	26.3	14	14.1	12
富山県	13.0	33	60.8	29	26.2	15	13.5	20
石川県	13.7	14	62.6	18	23.7	32	12.1	27
福井県	14.0	5	60.8	30	25.2	21	13.5	21
山梨県	13.4	23	61.9	22	24.6	25	12.8	25
長野県	13.8	10	59.7	42	26.5	11	14.2	11
岐阜県	14.0	7	61.9	23	24.1	28	11.8	30
静岡県	13.7	17	62.5	19	23.8	31	11.5	32
愛知県	14.5	4	65.2	5	20.3	45	8.9	44
三重県	13.7	11	62.0	21	24.3	27	12.0	28
滋賀県	15.1	2	64.2	10	20.7	42	10.0	40
京都府	12.9	36	63.8	13	23.4	34	11.0	35
大阪府	13.3	27	64.4	9	22.4	37	9.5	41
兵庫県	13.7	18	63.3	15	23.1	35	10.8	38
奈良県	13.2	29	62.8	16	24.0	29	11.1	34
和歌山県	12.9	37	59.9	40	27.3	6	14.0	16
鳥取県	13.4	25	60.3	36	26.3	13	14.6	7
島根県	12.9	35	58.0	47	29.1	2	16.6	1
岡山県	13.7	12	61.1	26	25.1	22	13.0	24
広島県	13.7	16	62.4	20	23.9	30	11.9	29
山口県	12.7	41	59.3	44	28.0	4	14.6	8
徳島県	12.4	43	60.6	32	27.0	8	14.7	6
香川県	13.4	24	60.7	31	25.8	17	13.7	18
愛媛県	13.0	34	60.4	35	26.6	10	14.1	13
高知県	12.2	44	59.0	45	28.8	3	15.9	3
福岡県	13.6	20	64.1	11	22.3	39	11.0	36
佐賀県	14.6	3	60.8	28	24.6	26	13.3	22
長崎県	13.6	19	60.4	34	26.0	16	14.0	15
熊本県	13.8	8	60.5	33	25.6	20	14.1	14
大分県	13.1	31	60.3	37	26.6	9	14.2	10
宮崎県	14.0	6	60.2	38	25.8	19	13.9	17
鹿児島県	13.7	13	59.8	41	26.5	12	14.8	5
沖縄県	17.8	1	64.8	6	17.4	47	8.7	46

資料出所 \*1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期  
平成22年10月1日 5年

## 年齢3区分別人口構成比 (各年10月1日現在)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。  
資料:「国勢調査」総務省統計局HP

### 低下する年少人口割合、上昇する老年人口割合

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の年齢3区分別の人口が総人口に占める割合は、年少人口割合が前回調査(平成17年)に比べ0.7ポイント低下し、大正9年の第1回調査以来最も低い13.3%(953,668人)でした。

生産年齢人口割合は、前回調査に比べ3.2ポイント低下し、66.3%(4,749,108人)で、東京都、神奈川県に次いで全国第3位となりました。

老年人口割合は、前回調査に比べ4.0ポイント上昇し、20.4%(1,464,860人)で、大正9年の第1回調査以来初めて20%を超え、前回調査は全国第46位でしたが、今回は全国第43位に上昇しました。また、4.0ポイントの上昇は全国で最高でした。

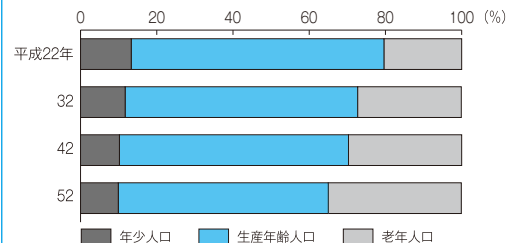
### 全国で最も低い75歳以上人口の割合

75歳以上の人口が総人口に占める割合は、前回調査に比べ1.9ポイント上昇し、8.2%(586,882人)となりましたが、全国第47位で最も低い割合でした。

※平成22年国勢調査から、年齢区分別人口割合の算出にあたっては、「不詳」数を分母に含めない方法に変更になりました。

※グラフの各構成比は、平成12年以前は「不詳」数を分母に含めた方法により、平成17年と平成22年は「不詳」数を分母に含めない方法により算出しています。

### ~年齢3区分別人口構成比の将来推計~



年齢3区分別人口構成比を平成22年と国立社会保障・人口問題研究所による30年後の平成52年の将来推計人口と比べてみると、年少人口割合が13.3%から9.9%に、生産年齢人口割合が66.3%から55.1%にそれぞれ減少する一方、老年人口割合は20.4%から34.9%に増加しています。

資料:「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」国立社会保障・人口問題研究所HP



おしえてコバトン

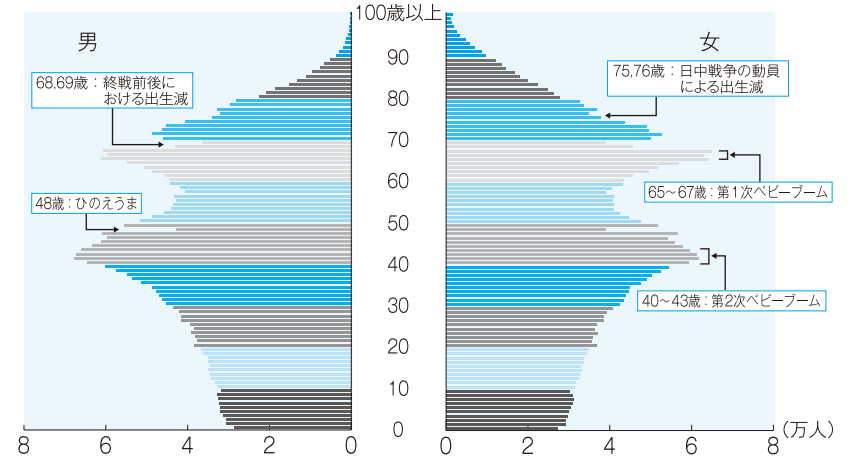
# 7 年齢

単 位	* 1 平均年齢		* 2 平均寿命(男)		* 3 平均寿命(女)		* 4 年齢100歳以上の人口	
	歳	順位	年	順位	年	順位	人	順位
全 国	45.0		79.59		86.35		43 882	
北 海 道	46.5	19	79.17	34	86.30	25	1 996	5
青 森 県	47.0	11	77.28	47	85.34	47	374	45
岩 手 県	47.4	7	78.53	45	85.86	43	501	35
宮 城 県	44.6	38	79.65	22	86.39	23	675	25
秋 田 県	49.3	1	78.22	46	85.93	39	405	42
山 形 県	47.6	5	79.97	9	86.28	28	477	38
福 島 県	46.1	22	78.84	44	86.05	38	685	24
茨 城 県	44.9	34	79.09	36	85.83	44	814	19
栃 木 県	44.8	37	79.06	38	85.66	46	516	31
群 馬 県	45.3	30	79.40	29	85.91	41	708	22
埼 玉 県	43.6	43	79.62	23	85.88	42	1 396	9
千 葉 県	44.3	40	79.88	13	86.20	34	1 431	8
東 京 都	43.8	42	79.82	14	86.39	22	3 744	1
神 奈 川 県	43.4	44	80.25	5	86.63	15	2 269	3
新 潟 県	47.0	10	79.47	27	86.96	5	1 105	13
富 山 県	46.9	13	79.71	19	86.75	10	554	29
石 川 県	45.3	31	79.71	18	86.75	11	503	33
福 井 県	46.0	23	80.47	3	86.94	7	341	46
山 梨 県	45.8	24	79.54	25	86.65	13	392	43
長 野 県	46.6	18	80.88	1	87.18	1	1 000	14
岐 阜 県	45.3	33	79.92	11	86.26	29	658	26
静 岡 県	45.4	27	79.95	10	86.22	32	1 198	11
愛 知 県	42.9	46	79.71	17	86.22	31	1 574	7
三 重 県	45.4	28	79.68	21	86.25	30	605	27
滋 賀 県	43.1	45	80.58	2	86.69	12	432	41
京 都 府	44.8	36	80.21	6	86.65	14	1 137	12
大 阪 府	44.3	41	78.99	41	85.93	40	2 365	2
兵 庫 県	44.9	35	79.59	24	86.14	35	1 918	6
奈 良 県	45.4	29	80.14	7	86.60	17	503	33
和 歌 山 県	47.3	8	79.07	37	85.69	45	433	40
鳥 取 県	46.9	14	79.01	40	86.08	36	334	47
島 根 県	48.4	3	79.51	26	87.07	2	515	32
岡 山 県	45.7	25	79.77	15	86.93	8	980	16
広 島 県	45.3	32	79.91	12	86.94	6	1 395	10
山 口 県	47.7	4	79.03	39	86.07	37	806	20
徳 島 県	47.6	6	79.44	28	86.21	33	377	44
香 川 県	46.7	17	79.73	16	86.34	24	482	37
愛 媛 県	47.1	9	79.13	35	86.54	19	720	21
高 知 県	48.4	2	78.91	42	86.47	21	486	36
福 岡 県	44.5	39	79.30	31	86.48	20	2 006	4
佐 賀 県	45.6	26	79.28	32	86.58	18	441	39
長 崎 県	46.8	16	78.88	43	86.30	26	700	23
熊 本 県	46.2	21	80.29	4	86.98	4	972	17
大 分 県	46.9	12	80.06	8	86.91	9	536	30
宮 崎 県	46.5	20	79.70	20	86.61	16	566	28
鹿 児 島 県	46.8	15	79.21	33	86.28	27	985	15
沖 縄 県	40.7	47	79.40	30	87.02	3	872	18

資料出所  
\* 1.4 「国勢調査」総務省統計局HP  
\* 2.3 「都道府県別生命表」厚生労働省HP

調査時点又は期間  
平成22年10月1日  
平成22年  
調査周期  
5年  
5年

# 埼玉県の人口ピラミッド (平成27年1月1日現在)



資料：「埼玉県町(丁)字別人口調査」県統計課

## 全国で5番目に若い県

「国勢調査」によると、平均年齢は、前回調査(平成17年)では全国で4番目に若い41.8歳でしたが、平成22年10月1日現在、1.8歳上昇して43.6歳となり、沖縄県、愛知県、滋賀県、神奈川県に続いて5番目に若い県となりました。

$$\text{平均年齢} = \frac{\text{年齢(各歳)} \times \text{各歳別人口}}{\text{各歳別人口の合計}} + 0.5$$

## 年齢100歳以上人口は20年前の約25倍に増加

「都道府県別生命表」によると、平成22年の国勢調査等を基に算出した本県の平均寿命は、男性が79.62年、女性が85.88年で、40年前(昭和45年)より男性は10.24年、女性は11.26年上昇しました。

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の年齢100歳以上の人口は1,396人で、20年前(55人人の約25倍に増加しました。

## 40歳代人口が最多

「埼玉県町(丁)字別人口調査」によると、平成27年1月1日現在の人口を年齢階級別にみると、40歳代が1,165,440人で総数(7,304,817人)の16.0%を占め最も多く、次いで60歳代が1,029,044人で同14.1%、30歳代が985,062人で同13.5%と続いています。

※表\*2.3の順位は、厚生労働省公表の順位です。

## ～長寿の市町村は？～

単位：年					
順位	男		順位	女	
1	所沢市	80.7	1	和光市	87.1
2	三芳町	80.6	2	滑川町	87.0
3	朝霞市	80.5	3	新座市	86.9
3	志木市	80.5	3	伊奈町	86.9
5	狭山市	80.3	3	三芳町	86.9

資料：「市区町村別生命表」厚生労働省HP

平均寿命とは、0歳の平均余命のことを言います。厚生労働省の「平成22年市区町村別生命表」によると、県内で一番平均寿命が高い市町村は、男性が80.7年で所沢市、女性が87.1年で和光市でした。





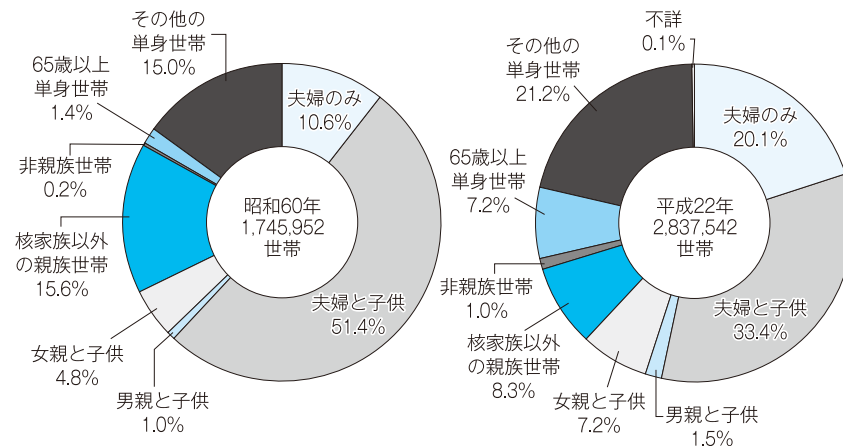
# 8 世帯

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	一般世帯数		1世帯当たり人員 (一般世帯)		核家族世帯割合 (一般世帯)		高齢単身世帯割合 (一般世帯)	
	世帯	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	51 842 307		2.42		56.3		9.2	
北海道	2 418 305	7	2.21	46	57.5	21	10.8	10
青森県	511 427	31	2.61	20	53.7	37	9.9	18
岩手県	482 845	32	2.69	11	51.1	45	9.0	24
宮城県	900 352	14	2.56	25	52.4	39	7.0	45
秋田県	389 095	38	2.71	8	52.1	43	10.1	14
山形県	387 682	39	2.94	1	48.3	46	7.7	39
福島県	719 441	22	2.76	7	52.5	38	8.3	31
茨城県	1 086 715	13	2.68	12	57.7	16	6.9	46
栃木県	744 193	19	2.65	15	55.6	30	7.1	44
群馬県	754 324	17	2.61	19	59.4	9	8.3	30
埼玉県	2 837 542	5	2.50	28	62.2	2	7.2	43
千葉県	2 512 441	6	2.44	34	59.5	8	7.6	40
東京都	6 382 049	1	2.03	47	48.2	47	9.8	21
神奈川県	3 830 111	2	2.33	41	59.3	10	8.1	34
新潟県	837 387	15	2.77	6	52.2	40	7.8	38
富山県	382 431	40	2.79	4	53.9	36	8.2	33
石川県	440 247	35	2.58	22	54.2	35	8.2	32
福井県	274 818	45	2.86	2	52.1	42	7.8	37
山梨県	327 075	41	2.58	23	57.7	17	9.0	26
長野県	792 831	16	2.66	13	56.7	25	8.7	29
岐阜県	735 702	20	2.78	5	57.4	22	7.8	35
静岡県	1 397 173	10	2.65	16	56.4	26	7.6	41
愛知県	2 929 943	4	2.49	30	57.5	20	7.4	42
三重県	703 237	23	2.59	21	58.7	12	8.9	27
滋賀県	517 049	30	2.69	10	57.7	19	6.6	47
京都府	1 120 440	12	2.31	42	55.2	34	9.9	19
大阪府	3 823 279	3	2.28	44	57.2	23	11.3	8
兵庫県	2 252 522	8	2.44	33	60.5	4	10.6	12
奈良県	522 600	28	2.63	17	64.0	1	9.0	25
和歌山県	392 842	36	2.50	29	60.1	7	12.8	3
鳥取県	211 396	47	2.71	9	52.1	41	9.2	23
島根県	260 921	46	2.66	14	51.5	44	10.5	13
岡山県	752 878	18	2.52	26	56.4	27	9.5	22
広島県	1 183 036	11	2.36	38	57.9	15	10.1	15
山口県	596 231	25	2.36	39	58.8	11	12.6	4
徳島県	301 546	43	2.52	27	55.4	31	10.7	11
香川県	389 652	37	2.49	31	57.7	18	9.8	20
愛媛県	589 676	26	2.37	37	58.6	13	11.8	5
高知県	321 004	42	2.30	43	55.8	28	13.9	2
福岡県	2 106 654	9	2.35	40	55.2	33	10.0	17
佐賀県	294 120	44	2.80	3	55.3	32	8.8	28
長崎県	556 895	27	2.47	32	58.2	14	11.4	7
熊本県	686 123	24	2.57	24	55.7	29	10.1	16
大分県	480 443	33	2.41	35	56.8	24	11.1	9
宮崎県	459 177	34	2.40	36	60.1	5	11.6	6
鹿児島県	727 273	21	2.27	45	60.1	6	14.1	1
沖縄県	519 184	29	2.63	18	60.5	3	7.8	36

資料出所 \*1~4 「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 平成22年10月1日 調査周期 5年

## 埼玉県の家族類型別一般世帯構成比



資料：「国勢調査」総務省統計局HP

### 増加する世帯数と進む世帯の小規模化

「国勢調査」によると、県内における平成22年10月1日現在の総世帯数は2,841,595世帯で、そのうち一般世帯数は2,837,542世帯、施設等の世帯数は4,053世帯でした。一般世帯数は、前回調査(平成17年)と比べると206,919世帯(7.9%)増加しました。

一般世帯の1世帯当たり人員は2.50人で、全国平均(2.42人)を上回ったものの、前回調査より0.14人減少しました。1世帯当たり人員は、前回調査(平成17年)と比べるとすべての都道府県で減少しており、世帯の小規模化が進んでいます。

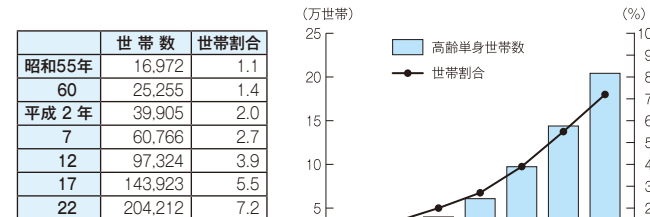
### 核家族世帯割合は全国第2位

家族類型別に一般世帯をみると、核家族世帯が1,763,958世帯で一般世帯の62.2%を占めており、この割合は全国第2位でした。また、核家族世帯のうち、夫婦のみの世帯は569,701世帯(一般世帯の20.1%)、夫婦と子供から成る世帯は947,579世帯(同33.4%)でした。

高齢(65歳以上)単身世帯は、前回調査より60,289世帯(41.9%)増加して204,212世帯で、一般世帯に占める割合は7.2%でした。

### ～高齢単身世帯数(割合)の推移～

「国勢調査」によると、県内の高齢(65歳以上)単身世帯数は、昭和55年には16,972世帯(一般世帯に占める割合1.1%)でしたが、平成22年には204,212世帯(同7.2%)に達し、30年間で約12倍に増加しました。高齢単身世帯の割合は、調査を重ねるごとに増加を続けています。



資料：「国勢調査」総務省統計局HP



おしえてコバン

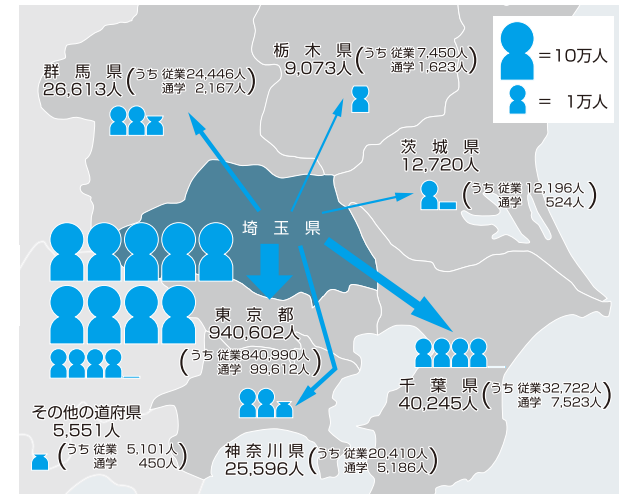
# 9 昼間人口

単 位	* 1 昼間人口		* 2 昼夜間人口比率		* 3 流入人口		* 4 流出人口	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	128 057 352		100.0		5 511 606		5 511 606	
北海道	5 504 418	7	100.0	19	2 728	44	4 740	43
青森県	1 374 008	29	100.0	13	5 622	40	4 967	42
岩手県	1 326 160	31	99.7	32	7 428	32	11 390	27
宮城県	2 351 980	15	100.2	9	19 369	21	15 593	26
秋田県	1 084 598	38	99.9	24	1 901	45	3 297	45
山形県	1 166 872	35	99.8	28	4 354	42	6 401	38
福島県	2 021 216	17	99.6	33	10 782	25	18 616	24
茨城県	2 886 651	11	97.2	40	75 673	9	159 224	8
栃木県	1 990 152	20	99.1	36	54 677	12	72 344	13
群馬県	2 005 137	18	99.9	27	55 338	11	58 261	16
埼玉県	6 373 489	5	88.6	47	246 144	4	1 060 400	2
千葉県	5 560 489	6	89.5	46	180 644	7	833 129	3
東京都	15 576 130	1	118.4	1	2 866 367	1	466 534	4
神奈川県	8 254 193	3	91.2	44	300 333	3	1 087 143	1
新潟県	2 374 633	14	100.0	17	4 878	41	4 695	44
富山県	1 091 323	37	99.8	29	6 362	38	8 287	32
石川県	1 172 269	34	100.2	7	10 602	26	8 133	33
福井県	806 735	43	100.1	12	6 206	39	5 788	39
山梨県	854 854	41	99.0	37	9 254	28	17 478	25
長野県	2 149 477	16	99.9	25	7 348	33	10 270	28
岐阜県	1 997 546	19	96.0	42	43 934	14	126 837	10
静岡県	3 759 757	10	99.9	26	31 728	17	37 028	17
愛知県	7 520 876	4	101.5	3	186 550	5	76 646	12
三重県	1 820 180	22	98.1	38	28 713	19	63 168	14
滋賀県	1 363 302	30	96.6	41	43 002	15	89 790	11
京都府	2 668 371	13	101.2	4	184 794	6	154 075	9
大阪府	9 280 560	2	104.7	2	668 317	2	251 710	6
兵庫県	5 347 839	8	95.7	43	133 309	8	371 973	5
奈良県	1 259 517	32	89.9	45	53 360	13	195 872	7
和歌山県	982 982	40	98.1	39	16 981	22	36 758	18
鳥取県	588 523	47	100.0	18	7 682	31	7 837	35
島根県	717 522	46	100.0	16	8 194	30	8 066	34
岡山県	1 943 176	21	99.9	21	19 547	20	21 963	21
広島県	2 868 553	12	100.3	5	30 035	18	22 213	20
山口県	1 444 127	25	99.5	35	12 976	23	20 011	22
徳島県	783 270	44	99.7	31	3 541	43	5 786	40
香川県	997 863	39	100.2	8	9 014	29	7 011	36
愛媛県	1 433 252	26	100.1	10	7 254	34	5 512	41
高知県	763 479	45	99.9	23	1 795	46	2 731	46
福岡県	5 078 054	9	100.1	11	65 238	10	59 252	15
佐賀県	851 631	42	100.2	6	36 553	16	34 842	19
長崎県	1 423 274	27	99.8	30	6 492	37	9 991	29
熊本県	1 809 829	23	99.6	34	11 317	24	18 861	23
大分県	1 196 808	33	100.0	15	10 023	27	9 706	30
宮崎県	1 135 601	36	100.0	14	7 205	36	6 848	37
鹿児島県	1 704 396	24	99.9	22	7 252	35	9 104	31
沖縄県	1 392 280	28	100.0	20	790	47	1 325	47

資料出所 \*1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期  
平成22年10月1日 5年

# 県外に就業する就業者及び通学者数 (平成22年10月1日現在)



## 県外に就業する就業者及び通学者数は全国第2位

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の昼間人口は、前回調査(平成17年)より214,525人(3.5%)増加して6,373,489人で、全国第5位でした。一方、常住人口(夜間人口)は7,194,556人でした。昼夜間人口比率は88.6で、前回調査に続き全国第47位でした。

本県に常住する15歳以上の就業者・通学者は3,879,297人で、そのうち県外へ就業・通学している者(流出人口)は1,060,400人で、全国第2位でした。

県外への就業・通学者は、東京都への940,602人が最多でしたが、前回調査(平成17年)より61,577人減少しました。次いで千葉県への40,245人、群馬県への26,613人の順でした。

一方、他都道府県に常住する15歳以上の就業者・通学者のうち、本県で就業・通学している者(流入人口)は246,144人で、全国第4位でした。

県外からの就業・通学者は、東京都からの136,130人が最も多く、次いで千葉県からの38,557人、群馬県からの25,902人の順でした。

**常住人口** 調査時に普段住んでいる場所における人口で、夜間人口とも呼ばれる。

**昼間人口** 昼間活動している場所における人口のことで、常住人口から就業・通学(15歳未満通学者を含む。)による流出人口及び流入人口を加減した人口。

**昼夜間人口比率** 常住人口を100とした場合の昼間人口の割合。

## ~市町村の昼夜間人口比率~

順位	昼夜間人口比率が低い (流出超過)	順位	昼夜間人口比率が高い (流入超過)
1	富士見市 72.4	1	三芳町 113.1
2	鳩ヶ谷市 (現川口市の一部) 75.6	2	嵐山町 104.5
3	東秩父村 76.4	3	美里町 100.8
4	白岡町 (現白岡市) 77.0	4	本庄市 100.8
5	松伏町 78.2	5	滑川町 100.4

資料: 「平成22年国勢調査」県統計情報館HP

昼夜間人口比率とは、当該市町村常住人口100人当たりの昼間人口の割合をいいます。

昼夜間人口比率が100未満であれば、昼間の就業・通学者等の流出が流入を上回っており(流出超過)、100を超えていれば、流入が流出を上回っている(流入超過)ことを表しています。

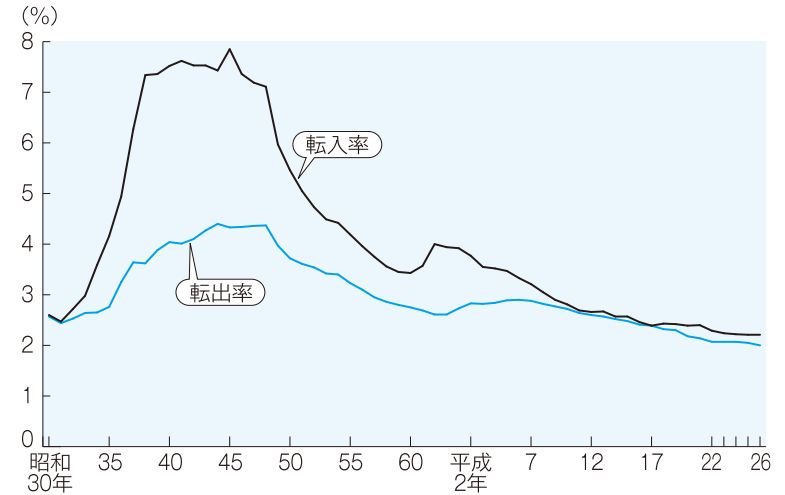


おしえてコバトン

# 10 転入・転出

# 転入率と転出率

単 位	* 1 他都道府県からの転入者数		* 2 他都道府県への転出者数		* 3 転入超過数		* 4 転入超過率	
	人	順位	人	順位	人	順位	%	順位
全 国	2 259 688		2 259 688		-		-	
北海道	46 554	12	55 496	10	△ 8 942	47	△ 0.17	24
青森県	17 792	33	24 252	30	△ 6 460	44	△ 0.49	47
岩手県	17 845	32	21 045	32	△ 3 200	33	△ 0.25	34
宮城県	48 951	10	46 514	14	2 437	7	0.11	5
秋田県	11 626	41	16 049	39	△ 4 423	39	△ 0.43	46
山形県	13 316	38	16 889	38	△ 3 573	36	△ 0.32	44
福島県	27 056	18	29 267	20	△ 2 211	21	△ 0.11	17
茨城県	44 018	14	48 867	12	△ 4 849	41	△ 0.17	25
栃木県	30 542	15	32 337	15	△ 1 795	19	△ 0.09	14
群馬県	26 519	19	26 769	23	△ 2 250	23	△ 0.12	18
埼玉県	157 553	3	142 644	4	14 909	2	0.21	2
千葉県	137 199	5	128 835	5	8 364	4	0.14	4
東京都	404 736	1	331 456	1	73 280	1	0.56	1
神奈川県	203 866	2	191 011	2	12 855	3	0.14	3
新潟県	21 853	29	27 371	25	△ 5 518	42	△ 0.24	33
富山県	11 891	40	12 982	42	△ 1 091	13	△ 0.10	16
石川県	16 994	36	17 580	36	△ 586	11	△ 0.05	12
福井県	8 048	47	10 294	46	△ 2 246	22	△ 0.29	40
山梨県	12 029	39	14 593	40	△ 2 564	25	△ 0.31	43
長野県	25 794	22	29 073	22	△ 3 279	34	△ 0.16	21
岐阜県	25 258	23	29 412	18	△ 4 154	38	△ 0.21	29
静岡県	48 814	11	56 054	9	△ 7 240	46	△ 0.20	28
愛知県	109 405	6	103 215	6	6 190	5	0.08	6
三重県	26 337	20	29 176	21	△ 2 839	28	△ 0.16	22
滋賀県	24 554	24	25 443	28	△ 889	12	△ 0.06	13
京都府	53 417	9	54 591	11	△ 1 174	16	△ 0.05	11
大阪府	149 142	4	149 533	3	△ 391	10	△ 0.00	9
兵庫県	86 390	8	93 482	7	△ 7 092	45	△ 0.13	20
奈良県	23 662	26	26 727	26	△ 3 065	31	△ 0.22	30
和歌山県	11 420	42	14 377	41	△ 2 957	30	△ 0.31	42
鳥取県	8 965	46	10 096	47	△ 1 131	14	△ 0.20	27
島根県	10 061	43	11 662	43	△ 1 601	18	△ 0.23	32
岡山県	28 900	16	29 282	19	△ 382	9	△ 0.02	10
広島県	45 071	13	47 710	13	△ 2 639	26	△ 0.09	15
山口県	22 163	28	25 810	27	△ 3 647	37	△ 0.26	36
徳島県	9 438	44	10 933	45	△ 1 495	17	△ 0.20	26
香川県	17 263	35	18 412	35	△ 1 149	15	△ 0.12	19
愛媛県	17 385	34	20 897	33	△ 3 512	35	△ 0.25	35
高知県	9 018	45	11 197	44	△ 2 179	20	△ 0.30	41
福岡県	96 588	7	92 688	8	3 900	6	0.08	7
佐賀県	14 979	37	17 248	37	△ 2 269	24	△ 0.27	37
長崎県	22 443	27	28 296	24	△ 5 853	43	△ 0.42	45
熊本県	27 671	17	30 532	17	△ 2 861	29	△ 0.16	23
大分県	18 170	31	20 818	34	△ 2 648	27	△ 0.23	31
宮崎県	18 421	30	21 606	31	△ 3 185	32	△ 0.29	39
鹿児島県	26 215	21	30 774	16	△ 4 559	40	△ 0.27	38
沖縄県	24 356	25	24 393	29	△ 37	8	△ 0.00	8



資料：「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局HP

## 転入超過数は全国第2位

「住民基本台帳人口移動報告年報」によると、平成26年の住民基本台帳上の他都道府県からの転入者数は、前年より357人減少して157,553人で、全国第3位でした。内訳は、東京都からの転入が最も多く58,206人、次いで神奈川県から13,610人、千葉県から13,086人の順でした。

また、他都道府県への転出者数は、前年より3,712人減少して142,644人で、全国第4位でした。内訳は、東京都への転出が最も多く56,283人、次いで神奈川県へ13,490人、千葉県へ12,992人の順でした。

転入者数と転出者数を比べると、昭和30年以降、転出者より転入者の多い転入超過の状況が続いていましたが、平成17年は51年ぶりに転出者が多い転出超過となりました。しかし、平成18年から再び転入超過となり、平成26年の転入超過数は14,909人で、全国第2位でした。同年に転入超過となっているのは、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県及び福岡県の7都県でした。

## ◆都道府県別人口動態(平成26年)◆

順位	自然増減数(人)	自然増減率(%)
1	沖縄県 5,097	沖縄県 0.35
2	愛知県 4,128	愛知県 0.06
3	東京都 1,789	滋賀県 0.04
4	滋賀県 622	東京都 0.01
5	神奈川県 △255	神奈川県 △0.00
-	埼玉県 △4,272 (第16位)	埼玉県 △0.06 (第6位)

順位	社会増減数(人)	社会増減率(%)
1	東京都 93,759	東京都 0.71
2	埼玉県 20,320	埼玉県 0.28
3	神奈川県 16,315	千葉県 0.20
4	千葉県 12,636	神奈川県 0.18
5	愛知県 7,212	宮城県 0.15

順位	自然増減数(人)	自然増減率(%)
43	秋田県 △9,090	岩手県 △0.57
44	兵庫県 △10,002	青森県 △0.60
45	新潟県 △11,800	山形県 △0.61
46	大阪府 △12,131	高知県 △0.66
47	北海道 △22,986	秋田県 △0.85

順位	社会増減数(人)	社会増減率(%)
43	長崎県 △5,638	山梨県 △0.29
44	青森県 △6,343	山形県 △0.31
45	兵庫県 △7,021	長崎県 △0.40
46	静岡県 △8,322	秋田県 △0.43
47	北海道 △8,401	青森県 △0.46

資料出所 \*1~4「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局HP

調査時点又は期間 平成26年 調査周期 毎年

資料：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成27年1月1日現在)」総務省HP

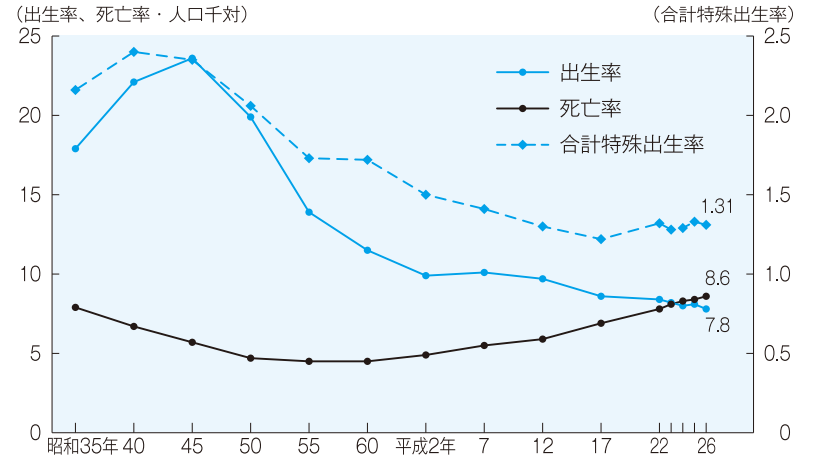
# 11 出生

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	出生数 人	順位	出生率 (人口千対)	順位	自然増減率 (人口千対)	順位	合計特殊出生率	順位
全 国	1 003 539		8.0		△2.1		1.42	
北海道	37 058	9	6.9	43	△4.3	30	1.27	45
青森県	8 853	34	6.7	46	△6.2	44	1.42	36
岩手県	8 803	35	6.9	44	△5.8	43	1.44	30
宮城県	18 069	14	7.8	24	△2.1	12	1.30	43
秋田県	5 998	43	5.8	47	△8.8	47	1.34	38
山形県	7 966	36	7.1	41	△6.3	45	1.47	21
福島県	14 517	23	7.5	32	△4.7	35	1.58	9
茨城県	21 873	12	7.6	30	△2.9	19	1.43	34
栃木県	15 442	20	7.9	20	△2.7	15	1.46	25
群馬県	14 522	22	7.5	34	△3.6	26	1.44	31
埼玉県	55 765	5	7.8	23	△0.8	6	1.31	40
千葉県	46 749	6	7.6	27	△1.2	8	1.32	39
東京都	110 629	1	8.5	10	△0.0	4	1.15	47
神奈川県	72 996	2	8.1	13	△0.2	5	1.31	42
新潟県	16 480	15	7.2	39	△5.1	38	1.43	32
富山県	7 556	38	7.1	40	△4.7	36	1.45	26
石川県	8 961	33	7.8	22	△2.8	18	1.45	27
福井県	6 166	41	7.9	19	△3.4	25	1.55	14
山梨県	6 063	42	7.3	36	△4.4	33	1.43	33
長野県	15 848	17	7.6	29	△4.3	31	1.54	15
岐阜県	15 138	21	7.5	31	△3.2	24	1.42	35
静岡県	28 684	10	7.9	21	△2.6	14	1.50	19
愛知県	65 218	4	8.9	4	0.4	2	1.46	22
三重県	13 727	25	7.7	26	△3.2	22	1.45	29
滋賀県	12 729	26	9.1	2	0.3	3	1.53	17
京都府	19 583	13	7.6	28	△2.3	13	1.24	46
大阪府	69 968	3	8.1	15	△1.3	9	1.31	41
兵庫県	44 352	8	8.1	14	△1.8	10	1.41	37
奈良県	9 625	30	7.0	42	△3.1	20	1.27	44
和歌山県	7 140	40	7.4	35	△5.7	40	1.55	13
鳥取県	4 527	47	7.9	18	△4.5	34	1.60	8
島根県	5 359	45	7.7	25	△5.8	42	1.66	3
岡山県	15 837	18	8.3	11	△2.7	16	1.49	20
広島県	23 775	11	8.5	9	△2.0	11	1.55	12
山口県	10 197	29	7.3	37	△5.5	39	1.54	16
徳島県	5 502	44	7.2	38	△5.7	41	1.46	24
香川県	7 745	37	8.0	17	△3.9	27	1.57	10
愛媛県	10 399	28	7.5	33	△5.1	37	1.50	18
高知県	5 015	46	6.8	45	△6.8	46	1.45	28
福岡県	45 203	7	9.0	3	△0.8	7	1.46	23
佐賀県	7 159	39	8.6	6	△3.1	21	1.63	6
長崎県	11 323	27	8.2	12	△4.2	29	1.66	4
熊本県	15 558	19	8.7	5	△2.7	17	1.64	5
大分県	9 279	32	8.0	16	△4.1	28	1.57	11
宮崎県	9 509	31	8.6	7	△3.2	23	1.69	2
鹿児島県	14 236	24	8.6	8	△4.3	32	1.62	7
沖縄県	16 373	16	11.6	1	3.6	1	1.86	1

資料出所 \*1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期  
平成26年 毎年

## 出生率・死亡率及び合計特殊出生率



### 出生数は全国第5位

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成26年の出生数は前年より1,705人減少の55,765人(男28,703人、女27,062人)で全国第5位でした。出生数は、昭和48年の106,008人をピークに平成2年まで減少し続け、その後増加した年もありますが、全体として減少傾向にあります。

また、出生率は7.8で、前年を0.3ポイント下回りました。出生率は、第2次ベビーブームの昭和46年の24.0以降低下を続け、平成元年頃から10.0前後で推移していました。しかし、平成19年から低下傾向にあり、平成25年に7年ぶりの上昇となったものの、平成26年は再び低下しました。

### 自然増減率、合計特殊出生率ともに低下

自然増減率は、前年よりさらに0.4ポイント低下して△0.8となり、全国第6位でした。これは、戦後初めてマイナスに転じた平成24年から3年連続の低下となります。合計特殊出生率は前年より0.02ポイント低下し、1.31でした。

※表\*1~3の全国値は住所が外国の者・不詳を含みます。

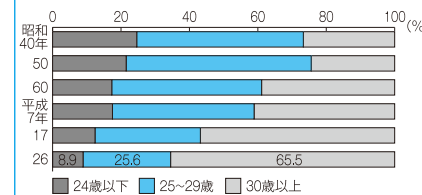
※表\*2~4の比率算出に用いた日本人人口は、平成26年10月1日現在人口推計(総務省統計局)です。

出生率 出生数÷日本人人口×1,000

自然増減率 自然増減数(出生数-死亡数)÷日本人人口×1,000

合計特殊出生率 15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に子どもを生むとしたときの子どもの数に相当します。

### ~母の年齢階級別出生割合~



母の年齢階級別に本県の出生数の構成割合をみると、25~29歳の母からの出生は昭和51年の57.0%をピークに減少傾向にあり、平成26年は25.6%でした。また、24歳以下は平成5年以降減少傾向にあり、平成26年は8.9%でした。一方、30歳以上は増加を続け、平成26年は65.5%でした。



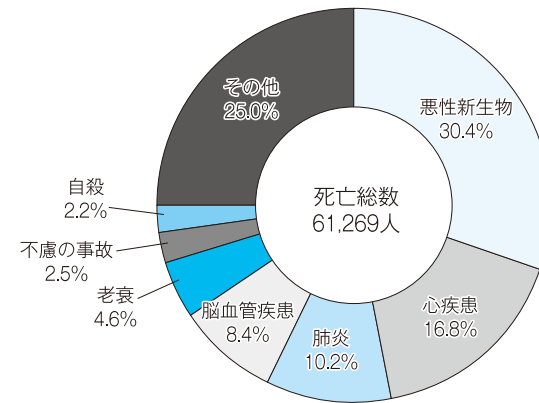
# 12 死亡

# 死因別死亡数構成比 (平成26年)

単 位	* 1 死亡数 (総数)		* 2 死亡率 (人口千対)		* 3 死亡数 (悪性新生物)		* 4 死亡数 (心疾患)	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	1 273 004		10.1		368 103		196 926	
北海道	60 018	6	11.2	25	18 759	4	9 429	6
青森県	17 042	28	12.9	7	5 002	25	2 584	28
岩手県	16 274	29	12.7	10	4 307	29	2 810	27
宮城県	22 854	17	9.9	38	6 540	15	3 526	17
秋田県	15 095	30	14.6	1	4 211	30	2 267	32
山形県	15 031	31	13.4	4	4 015	32	2 330	31
福島県	23 495	16	12.2	15	6 128	17	4 151	14
茨城県	30 341	11	10.5	32	8 639	11	4 762	12
栃木県	20 755	22	10.6	31	5 713	21	3 382	20
群馬県	21 441	19	11.0	26	5 844	20	3 483	19
埼玉県	61 269	5	8.6	43	18 599	5	10 263	4
千葉県	53 975	8	8.8	41	16 068	8	9 502	5
東京都	111 023	1	8.5	45	33 820	1	16 956	1
神奈川県	74 387	3	8.3	46	22 993	3	10 786	3
新潟県	28 316	13	12.3	14	7 812	13	4 188	13
富山県	12 584	36	11.9	17	3 559	35	1 741	40
石川県	12 190	38	10.6	30	3 535	36	1 855	38
福井県	8 817	46	11.3	24	2 407	46	1 454	43
山梨県	9 755	43	11.8	21	2 565	42	1 363	45
長野県	24 751	15	11.9	18	6 285	16	3 777	16
岐阜県	21 658	18	10.8	29	6 017	18	3 513	18
静岡県	38 342	10	10.5	34	10 487	10	5 472	10
愛知県	62 426	4	8.6	44	18 527	6	8 483	7
三重県	19 525	24	10.9	28	5 172	24	2 986	25
滋賀県	12 266	37	8.8	42	3 598	34	2 007	37
京都府	25 507	14	9.9	36	7 734	14	4 149	15
大阪府	81 652	2	9.4	40	25 595	2	12 734	2
兵庫県	54 147	7	9.9	37	16 273	7	8 146	8
奈良県	13 835	33	10.1	35	4 077	31	2 456	30
和歌山県	12 609	35	13.0	5	3 406	38	2 239	34
鳥取県	7 076	47	12.4	12	2 046	47	1 052	47
島根県	9 369	45	13.5	3	2 503	44	1 360	46
岡山県	21 051	21	11.0	27	5 852	19	3 243	22
広島県	29 463	12	10.5	33	8 295	12	4 851	11
山口県	17 910	25	12.8	9	4 777	27	2 979	26
徳島県	9 853	42	13.0	6	2 469	45	1 543	42
香川県	11 503	39	11.8	20	3 067	39	2 073	35
愛媛県	17 529	26	12.6	11	4 526	28	3 331	21
高知県	9 984	41	13.6	2	2 555	43	1 747	39
福岡県	49 317	9	9.8	39	15 087	9	5 666	9
佐賀県	9 732	44	11.7	22	2 798	41	1 387	44
長崎県	17 091	27	12.4	13	4 928	26	2 563	29
熊本県	20 461	23	11.5	23	5 499	23	3 135	24
大分県	14 065	32	12.1	16	3 836	33	2 056	36
宮崎県	13 110	34	11.8	19	3 469	37	2 242	33
鹿児島県	21 413	20	12.9	8	5 546	22	3 146	23
沖縄県	11 361	40	8.1	47	2 965	40	1 601	41

資料出所 \*1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期 平成26年 毎年



資料：「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP  
「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP

### 死亡数は増加

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成26年の死亡数は前年より1,005人増加して、61,269人(男性33,287人、女性27,982人)で全国第5位でした。死亡率は前年より0.2ポイント増加して8.6でした。死亡率は昭和35年から昭和55年まで低下傾向が続くが、以降4.5前後で推移していましたが、昭和61年以降上昇傾向に転じました。

### 死因第1位は悪性新生物(がん)、第2位心疾患、第3位肺炎で変わらず

死亡数を死因別にみると、悪性新生物が18,599人(死亡総数の30.4%)と最も多く、次いで心疾患10,263人(同16.8%)、肺炎6,275人(同10.2%)、脳血管疾患5,155人(同8.4%)、老衰2,800人(同4.6%)、不慮の事故1,523人(同2.5%)、自殺1,337人(同2.2%)の順でした。

また、年齢階級別に死因別割合をみると、10~30歳代は自殺、40~80歳代は悪性新生物、90歳以上は心疾患の割合が最も高くなっています。

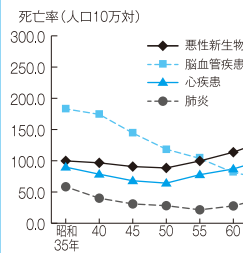
※表\*1~4の「全国」には、住所が外国・不詳の者を含みます。

※表\*4、グラフ及び文中の心疾患の死亡数は、高血圧性を除きます。

死亡率 死亡数÷日本人人口×1,000

※日本人人口は、平成26年10月1日現在人口推計(総務省統計局)です。

### ~主要死因別死亡率の推移~



死因別に死亡率(人口10万対)の推移をみると、悪性新生物(がん)は昭和56年以降死因順位第1位となり、上昇を続けています。心疾患は、昭和60年に脳血管疾患にかわり第2位となり、その後も緩やかな上昇を続けています。脳血管疾患は、昭和36年をピークに低下し、平成23年には肺炎にかわり第4位となっています。

注)平成7年の心疾患及び脳血管疾患の著しい変動は、死亡傾向が急激に変化したものではなく、死亡分類及び死亡診断書の改正によるものと考えられる。

資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課



# 13 婚姻・離婚

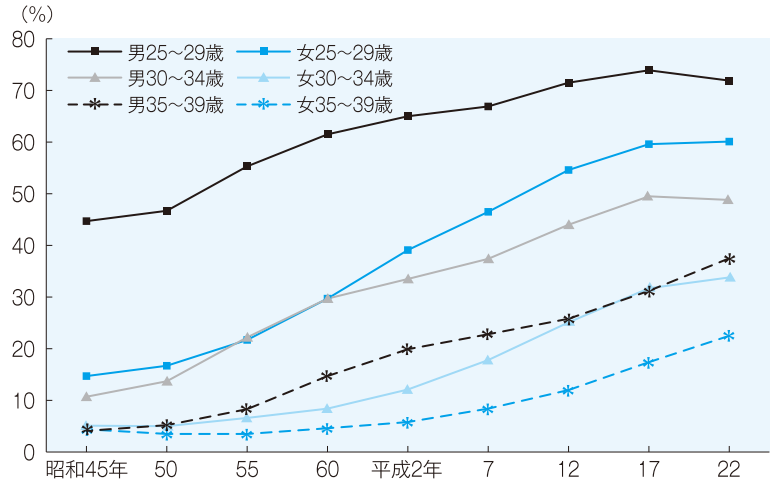
単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	婚姻率 (人口千対)		離婚率 (人口千対)		平均初婚年齢(夫)		平均初婚年齢(妻)	
	—	順位	—	順位	歳	順位	歳	順位
全 国	5.1		1.77		31.1		29.4	
北海道	4.8	18	2.04	4	30.7	20	29.2	12
青森県	4.2	46	1.67	31	30.6	25	29.0	22
岩手県	4.3	43	1.45	43	30.6	25	28.9	30
宮城県	5.1	7	1.65	32	30.8	13	29.2	12
秋田県	3.7	47	1.40	44	31.0	8	29.2	12
山形県	4.2	45	1.48	41	30.3	37	28.7	40
福島県	4.5	32	1.64	33	30.2	43	28.4	47
茨城県	4.8	20	1.72	24	30.8	13	29.0	22
栃木県	5.0	11	1.70	26	30.7	20	28.9	30
群馬県	4.7	26	1.71	25	30.8	13	29.0	22
埼玉県	4.9	14	1.75	16	31.4	3	29.5	4
千葉県	5.0	10	1.74	17	31.4	3	29.5	4
東京都	6.7	1	1.81	9	32.3	1	30.5	1
神奈川県	5.4	4	1.78	11	31.8	2	30.0	2
新潟県	4.3	41	1.38	46	30.8	13	29.1	17
富山県	4.3	42	1.34	47	31.0	8	29.2	12
石川県	4.7	25	1.49	40	30.8	13	29.1	17
福井県	4.8	22	1.46	42	30.2	43	28.7	40
山梨県	4.5	34	1.69	27	31.1	7	29.3	10
長野県	4.6	31	1.57	39	31.4	3	29.5	4
岐阜県	4.5	33	1.58	38	30.6	25	28.8	36
静岡県	4.9	12	1.76	13	31.0	8	29.1	17
愛知県	5.7	3	1.75	15	30.8	13	28.9	30
三重県	4.8	21	1.73	21	30.5	29	30.7	40
滋賀県	5.0	9	1.60	36	30.5	29	29.0	22
京都府	4.9	13	1.74	19	31.3	6	29.7	3
大阪府	5.4	6	2.06	3	31.0	8	29.5	4
兵庫県	4.9	15	1.76	14	30.8	13	29.3	10
奈良県	4.4	38	1.63	34	31.0	8	29.4	8
和歌山県	4.6	30	1.98	5	30.3	37	28.8	36
鳥取県	4.7	27	1.80	10	30.7	20	29.0	22
島根県	4.4	40	1.40	45	30.7	20	28.9	30
岡山県	4.9	17	1.68	28	30.4	34	28.7	40
広島県	5.1	8	1.73	22	30.5	29	29.0	22
山口県	4.4	37	1.62	35	30.2	43	28.7	40
徳島県	4.4	39	1.67	30	30.4	34	28.9	30
香川県	4.8	19	1.76	12	30.3	37	28.9	30
愛媛県	4.4	36	1.73	20	30.3	37	28.8	36
高知県	4.2	44	1.86	7	30.6	25	29.4	8
福岡県	5.4	5	1.98	6	30.7	20	29.2	12
佐賀県	4.7	23	1.59	37	29.9	47	28.5	46
長崎県	4.4	35	1.68	29	30.4	34	29.1	17
熊本県	4.9	16	1.74	18	30.3	37	28.8	36
大分県	4.6	29	1.72	23	30.5	29	29.1	17
宮崎県	4.6	28	2.07	2	30.1	46	28.7	40
鹿児島県	4.7	24	1.82	8	30.5	29	29.0	22
沖縄県	6.0	2	2.53	1	30.3	37	29.0	22

資料出所  
\* 1～4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間  
平成26年

調査周期  
毎年

## 年齢階級別未婚率(各年10月1日現在)



資料：「国勢調査」総務省統計局HP

### 婚姻率は引き続き低下

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成26年の婚姻件数は、前年より1,061件減少して35,218件で、婚姻率は前年より0.2ポイント低下して4.9でした。

また、離婚件数は、前年より654件減少して12,484件で、離婚率は前年より0.09ポイント低下して1.75でした。

### 25～34歳の男性の未婚率が低下に転じる

平成26年の平均初婚年齢は、夫が31.4歳、妻が29.5歳で、夫・妻共に前年より0.1歳上昇しました。

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の未婚率は、25～29歳では男性71.9%、女性60.1%で、前回調査(平成17年)より男性は2.0ポイント低下したのに対し、女性は0.5ポイント上昇しました。

また、30～34歳では男性48.8%、女性33.8%で、前回調査より男性は0.7ポイント低下したのに対し、女性は2.1ポイント上昇しました。

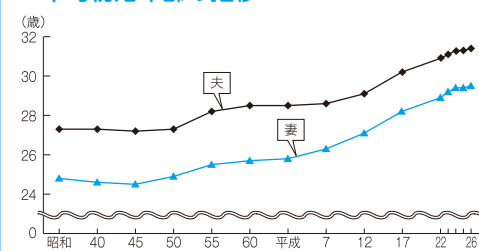
なお、平成27年国勢調査の未婚者に関する調査結果は、平成28年10月頃公表予定です。

婚姻率・離婚率 婚姻(離婚)件数÷日本人口×1,000

※日本人口は、平成26年10月1日現在人口推計(総務省統計局)です。

未婚率 当該年齢(年代)の未婚者(結婚したことのない人)数÷当該年齢(年代)の総人口×100

### ～平均初婚年齢の推移～



本県の平成26年の平均初婚年齢は夫31.4歳、妻29.5歳で、双方とも前年より0.1歳上昇しました。昭和35年と比べて、夫は4.1歳、妻は4.7歳上昇しています。

資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP



おしえてコバトン

## ◆国勢調査による年齢3区分別人口の推移◆

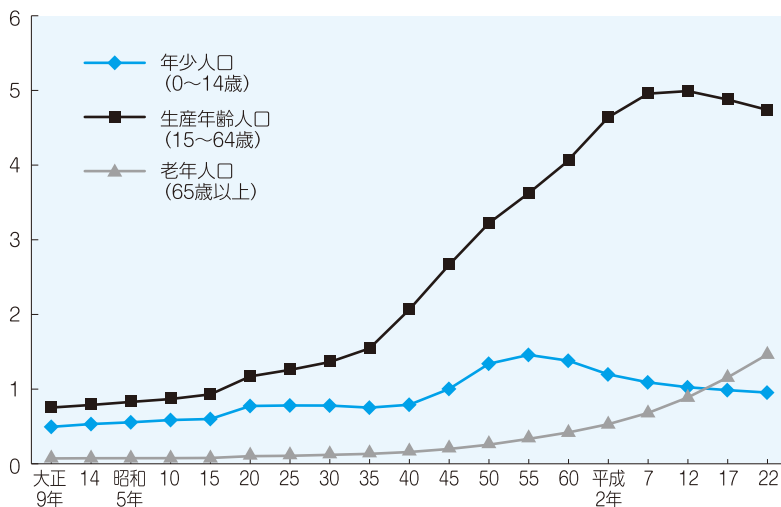
年次	世帯数	人 口 (人)			
		総 数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
大正 9年	237 949	1 319 533	494 776	752 892	71 865
14	253 261	1 394 461	532 213	787 869	74 379
昭和 5年	265 465	1 459 172	555 794	828 399	74 979
10	277 548	1 528 854	586 089	867 178	75 587
15	290 509	1 607 927	599 800	929 905	78 220
20	...	2 047 261	774 175	1 170 912	102 174
25	398 779	2 146 445	781 127	1 257 941	107 205
30	423 902	2 262 623	779 877	1 362 837	119 900
35	492 731	2 430 871	752 024	1 545 841	133 006
40	696 821	3 014 983	790 961	2 066 337	157 685
45	993 079	3 866 472	1 002 863	2 665 020	198 589
50	1 323 713	4 821 340	1 340 136	3 223 138	256 014
55	1 584 655	5 420 480	1 458 421	3 624 550	333 874
60	1 751 372	5 863 678	1 380 180	4 060 573	420 099
平成 2年	2 044 234	6 405 319	1 196 946	4 660 202	530 539
7	2 289 138	6 759 311	1 090 395	4 976 945	681 172
12	2 482 374	6 938 006	1 024 787	5 011 202	889 243
17	2 650 115	7 054 243	986 361	4 892 253	1 157 006
22	2 841 595	7 194 556	953 668	4 749 108	1 464 860

注) 1 人口の総数には、年齢「不詳」を含む年があります。

2 昭和20年は、人口調査による数値です。

資料：「国勢調査」総務省統計局HP(各年10月1日現在、昭和20年は11月1日現在)

(百万人)



平成27年は、統計法に基づき5年ごとに行われる国勢調査の年でした。初めて全国でオンライン調査が導入され、全国では36.9%、埼玉県では41.2%がインターネットによる回答でした。

集計結果は、平成28年から29年にかけて順次公表されます。国勢調査の結果からは、時代の潮流を客観的に知ることができます。

例えば、年少人口は昭和55年をピークに減少に転じ、平成17年には3区分の中で最少となりました。逆に、老年人口は平成に入り急増し、ついに平成17年に年少人口と逆転しました。グラフをみると、少子高齢化が急速に進んでいるのがはっきりわかります。